

♪1月の定例会の報告をいたします。

1月は「がんと漢方薬」というテーマで、福岡市薬剤師会学術研修委員会委員長で“くらは薬局”勤務の鮫島千織さんに講演していただきました。鮫島さんは、大賀薬局大名店勤務の10数年にわたり、漢方治療で有名な高山宏世先生の処方（漢方エキス製剤・煎剤・漢方生薬剤・漢方外用薬等）を調剤されていたそうです。又、研究会・学会に頻回に出席され、研鑽を積まれています。

まず報告の前に『抗がん剤の副作用軽減効果』について少しご紹介します。（「学生のための漢方医学テキスト」日本東洋医学会学術教育委員会編集（2007年）より一部抜粋）

近年、漢方処方抗がん剤と併用することで副作用を軽減し、抗がん剤の効果を高めることが知られてきた。

白金錯体のシスプラチンは精巣腫瘍、卵巣がん、膀胱がん、子宮がんなどの固形がん用いられる抗腫瘍薬である。腎毒性、嘔吐、悪心など副作用も多く、連続投与を障害する一因になっている。この副作用軽減を目的として大量の補液や利尿剤を用いているが、必ずしも満足する効果を得るまでにはいたっていない。そこで漢方処方の利用が検討された。まず“補剤”の十全大補湯、補中益気湯、“利水剤”の五苓散、苓桂朮甘湯について、亜急性ならびに抗腫瘍効果への影響が検討された。その結果「補剤」「利水剤」のいずれの処方も血中尿毒性窒素（BUN）値の上昇をほぼ正常値まで抑制した。十全大補湯について検討したところ、シスプラチンの腎毒性だけでなく、白血球減少の骨髄毒性や体重の減少も抑制することが判明した。この効果は予防効果であり、シスプラチンと同時あるいは前投与により毒性の軽減効果があることが明らかとなった。この作用には、構成生薬の当帰が寄与していることが判明した。抗腫瘍薬塩酸イリノテカン（トポイソメラーゼ阻害剤）は肺がんや子宮頸がんなどに治療効果を示す。また従来の抗がん剤では治療効果があまり期待できなかった結腸・直腸がんや胃がんにも有効な薬剤である。副作用として悪心、嘔吐、下痢など消化器症状が強く出現する。この塩酸イリノテカンの副作用に関しても漢方処方が有用であることが示されている。

黄芩が腸内細菌叢によるこの加水分解を阻害するのとして見い出され、消化管の機能異常に応用されてきた漢方処方で、黄芩を構成生薬とする処方として半夏瀉心湯が着目された。臨床研究に応用された結果、その有用性が確認され、抗腫瘍効果に影響を及ぼさず止瀉作用を持つことが証明された。

では講演の要約を紹介します。

1. 自然のものからできた抗がん剤

**動植物からできた抗がん剤**

- ニチニチソウ
- ピンクリスチン（オンコピン）
- 白血病、悪性リンパ腫、小児腫瘍、多発性骨髄腫、悪性星細胞腫、乏突起神経腫成分を有する神経腫
- ビンブラスチン（エクザール）
- 悪性リンパ腫、絨毛性疾患癌、胚細胞腫瘍、尿路上皮癌



**動植物からできた抗がん剤**

- タイヘイヨウイテイの樹皮
- バクリタキセル（タキソール）
- 卵巣がん、非小細胞肺癌、胃がん、子宮体がん




**動植物からできた抗がん剤**

- 喜樹（旱蓮木）の果実と根
- イリノテカン
- カンプトテシン→イリノテカン
- 小細胞肺癌、非小細胞肺癌、乳がん
- 子宮頸がん、卵巣がん、胃がん、結腸、直腸がん、悪性リンパ腫




**動植物からできた抗がん剤**

- かわらたけ（瓦茸）の菌糸体
- かわらたけ多糖体制剤末（クレスチン）
- 胃がん、結腸・直腸がん、小細胞肺癌に多剤との併用療法




### 動植物からできた抗がん剤

- シイタケの子実体
- レンチナン
- 手術不能又は再発胃がん患者におけるテガフル経口投与との併用



### 動植物からできた抗がん剤

- クロイソカイメン
- エリブリン (ハラヴェン)
- ハリコンドリンB→エリブリン
- 再発乳癌



## 2. 制がん効果があるとされて使われているもの・研究されているもの 75項目

藤瘤 (ふじこぶ)・訶子 (かし)・菱の実 (菱実) (りょうじつ)・熊笹、隈笹 (くまざさ)・松葉 (まつば)・舞茸 (まいたけ)・阿魏茸 (あぎたけ)・白樺茸 (チャーガ)・梅寄生茸 (さるのこしかけ)・ハナビラタケ・ムラサキシメジ・マツタケ・メシマコブ (女島瘤)・ヤマブシタケ (山伏茸)・れいし (霊芝)・冬虫夏草 (とうちゅうかそう)・ガジュツ (莪朮)・姜黄 (きょうおう)・三豆根 (さんずこん)・天葵子 (てんきし)・沢漆 (たくしつ)・山慈姑 (さんじこ)・馬銭子 (まちなし)・卷柏 (けんぱく)・括楼根 (かるこん)・急性子 (きゅうせいし)・黄蘗子 (おうやくし)・山稜 (さんりょう)・劉寄奴 (りゅうきど)・牛蒡子 (ごぼうし)・仙鶴草・夏枯草・石榴皮 (せきりゅうひ)・川楝子・蘇方木 (そほうぼく)・淫羊藿・旋覆花 (せんぷくか)・エキナセア、エキナケア・キャツクロウ・牛皮消根 (ごひしょうこん)・牡蠣 (ほれい)・真珠 (しんじゆ)・瓦楞子 (がりょうし)・番杏 (ばんきょう)・升麻 (しょうま)・党参・三七 (さんしち)・炉甘石 (ろかんせき)・白花蛇舌草 (びゃっかじゃぜつそう)・半枝蓮 (はんしれん)・海金沙 (かいきんしゃ)・華北大黄 (かほくだいおう)・青黛 (せいたい)・紫根 (しこん)・丹参 (たんじん)・蓮肉 (れんにく)・虻虫 (ぼうちゅう)・別甲、土別甲 (べっこう)・五靈脂 (ごれいし)・紫河車 (しかしゃ)・蟾蜍 (せんじょ)・黄瓜 (おうか)・虎杖根 (こじょうこん)・金銀花、忍冬・連翹 (れんぎょう)・土茯苓 (どぶくりょう)・前胡 (ぜんこ)・沢瀉 (たくしゃ)・赤芍 (せきしゃく)・延胡索 (えんごさく)・枇杷葉 (びわよう)・槐花 (かいか)・海藻 (かいそう)・羅摩子 (らまし)・香附子 (こうぶし)・桃仁 (とうにん)・肉豆蔻 (にくずく)・狗背 (くせき)・陳皮 (ちんぴ)・王不留行 (おおふるぎょう)・紅参 (こうじん)・玄参 (げんじん)・皂角刺 (そうかくし)・茶葉 (ちゃよう)

## 3. がん緩和治療に漢方治療を併用する理由

- ①漢方療法は直接の腫瘍縮小効果を期待する治療法ではなく、現段階ではあくまでも、がん治療の補完的または支持的治療の分野に属しており、単独で抗腫瘍効果は期待できないとされているが生体免疫力や患者QOLの向上の有効性は高い。
- ②個々の患者の訴えに応じての随症 (証) 治療で、個別的に、対症的に、流動的に用いるべきであり、診断名から画一的に治療内容を決めるべきではない。
- ③治療選択においては、虚実、陰陽、気血水、寒熱などの「証」を診断することは大切である。
- ④さらに生育歴、体型、全身状態、表情を観察し、問診、望診、聞診、切診に脈診・腹診と舌診などを参考にした総合診断が必要となる。
- ⑤漢方方剤の投与方法の注意として、漢方薬は基本すべてが経口投与剤なので、胃や腸管の手術、がん性腹膜炎などの既往は患者の腸管内細菌叢を変化させ、治療効果に影響を与えることがある。問診の際は、口腔内、食道、胃、腸などの外科的手術療法の既往があるのか否かを把握する。
- ⑥経口摂取が可能で、嚥下障害のない患者に限定されることが多く、緩和ケア病棟に入院する患者は、エキス顆粒剤を直接服用することが難しくなることが多い。恵紙らの唱える氷漢方やゼリー、

ヨーグルトなどへのふりかけなどの使用法の工夫が必要となる。

⑦服用は食間や食前が好ましいとされているが、胃潰瘍などの胃疾患がある場合には食後に服用する。また胃障害をもたらす地黄剤は食後が良い。漢方方剤は投与後急速に効果が出ることが少なく、多くの方剤はプロバイオティクス（probiotics）である腸内細菌により修飾されて薬理効果が出現してくるので、比較的長時間にわたり継続投与が必要となる。投薬は少なくとも2週間から2ヶ月必要とされている。

⑧化学療法や放射線療法の副作用への予防的投与も治療1週間前に投与する方が、より良い効果をもたらす。また、腸内細菌の菌叢は個人差が大きいので、1つの方剤で効果が見られない時は、別の方剤を併用するか、他の薬剤に変更することも必要である。

漢方薬も他の薬剤と同様に有害反応が見られる。多くの方剤に含まれる甘草などの重複投与に伴う偽アルドステロン症による浮腫、高齢者への麻黄製剤の重複投与には留意する必要がある。

動植物からできた制がん剤が6つあり、制がん効果があるとされて使われているもの、研究されているものを約75種も紹介していただきました。我々を取り巻く自然界には発癌作用の物質もあれば制癌作用のある物質も多数あることが判りました。うまくバランスをとっていくことが重要であると思いました。

#### 【Q&A】

Q1：三大補剤について教えてください。

A1：補中益気湯、十全大補湯、人参養栄湯があります。これらはインターフェロンの副作用を軽減し、免疫賦活作用があります。消化管などの臓器障害には補中益気湯、化学療法、放射線治療からの体力回復には十全大補湯、人参養栄湯を選択します。

Q2：大学病院で抗がん剤の副作用対策に使っている漢方薬があると聞きましたが。

A2：九州大学病院では、抗がん剤の副作用の悪心、嘔吐、下痢に半夏瀉心湯を使用し、又、四肢の末梢神経障害には牛車腎気丸が処方されています。

Q3：他に良く使われている漢方薬はありますか？

A3：消化管手術後の麻痺性単純性腸閉塞の改善予防に大建中湯が良く処方されています。

Q4：肺癌にはどんな漢方薬が処方されていますか？

A4：人参養栄湯と当帰芍薬散です。但し地黄、甘草の副作用に注意しないとイケません。